

□議員名：杉本 保喜

1 防災体制の改善と今後について（熊本震災を視ての当市の対応）

論点	市の業務継続計画の策定において、現状の分析と策定の要所はどこにあるか。
回答	有事での職務の継承順位不足や、本庁舎損壊で使用不能になり代替え地での業務を継続する場合の通信回線や電源不足の問題等指摘された事項を検証し、問題解決にあたって実効性のあるものにしていきたい。

論点	避難所開設・運営マニュアル（暫定版）の作成状況について問う。
回答	関係部署等との調整が満足でないため、暫定版にしているが、ボランティアの受け入れ等指摘部分を含んで検討し、正式なものを本年中に制定したい。

論点	庁内の防災体制において、今後の強化策を問う。
回答	危機管理室を課に昇格して体制を強化する提案は理解できるが、現状の中で最善を尽くしたい。本件は、大学問題等に追われて作業がおくれているが、これから早急に取り組んでいく。

2 高齢者の健康維持・向上策について問う。

論点	高齢者が心身の維持向上を図る対策が実施され、その効果を検証しているか。
回答	「介護予防応援隊」「住民運営通いの場」等の心身の維持向上を図る対策や「はっらっシニアスポーツ大会」「グラウンドゴルフ大会」で社会参加を図っている。

論点	高齢者の運動志向を助成する施策はあるか。
回答	SOS健康体操の普及啓発や健康推進員の養成と活動の拡大等で高齢者の運動志向の助成を図っている。提案の介護予防遊具の設置については、専門職員の指導のもとに利用することであれば有意義であると考えている。

3 山陽小野田市スポーツによるまちづくり推進計画について問う。

論点	市内の「スポーツを通じて心と体の健康づくり」の現状(環境)はどのように把握され、その向上策の実施はどうか。
回答	推進委員会を設置し、意見を集約した。また、アンケートを市民に実施し、スポーツ環境を把握した。庁内では13部署で構成する連携会議を実施し、連携を図っている。

論点	「レノファ山口の支援」は、市の活性化策として重要であるが、サッカー以外のスポーツをどのように活性化するのか。
回答	本市はスポーツ全体の振興を図るものであり、サッカーに特化したものではない。スポーツの環境整備や関係機関と連携を図りながらスポーツを通じた豊かな市民生活の実現を図り、施設の修繕、修復も緊急性のある所から予算確保に努め、対応して環境整備を図りたい。